

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	36° 38' 8.60"		
				経度	137° 57' 56.90"		
瀬戸川橋 (フリガナ)セトガワバシ		001 1-11号線	上水内郡 小川村 瀬戸川				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
長野県 00 小川村	2016.09.30	瀬戸川	無	一般道		上水道	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				株式会社 アンドー		点検責任者		小坂 祐司	
点検時に記録				措置後に記録					
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	III	漏水・遊離石灰	写真9、主桁02					
	横桁	II	漏水・遊離石灰	写真12、横桁01					
	床版	III	漏水・遊離石灰	写真14、床版01					
下部構造		I							
支承部		I							
その他		II	舗装の異常	写真1、舗装01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	橋面からの漏水による主桁・床版のひび割れ・遊離石灰の析出が著しいため、早急な対策を要する。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
不明	12m	4.40m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">その他【判定区分: Ⅱ】</p> 	<p style="text-align: center;">上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】</p> 
<p style="text-align: center;">上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】</p> 	<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】</p> 

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	36° 36' 50.16"		
				経度	137° 56' 31.11"		
絹張2号橋 (フリガナ)キヌバリ2ゴウバシ		013 13号線	上水内郡 小川村 高府				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
長野県 00 小川村	2016.09.16	吉刈沢	無	一般道		上水道	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			株式会社 アンドー		点検責任者			小坂 祐司	
点検時に記録				措置後に記録					
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分		変状の種類		措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I							
	横桁								
	床版								
下部構造		III	洗掘	写真15、橋台02					
支承部		I							
その他		III	腐食、変形・欠損など	写真3/4、防護柵02					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	A2橋台基礎の洗掘により、構造安定性に懸念があるため早期に対策が必要。 防護柵支柱が破断し機能喪失している。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
不明	9m	3.50m	
起点		終点	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">その他【判定区分: Ⅲ】</p> 	<p style="text-align: center;">その他【判定区分: Ⅲ】</p> 
<p style="text-align: center;">下部構造【判定区分: Ⅲ】</p> 	<p style="text-align: center;">【判定区分: 】</p>